

●2008年9月15日 ●栃木県造園建設業協同組合

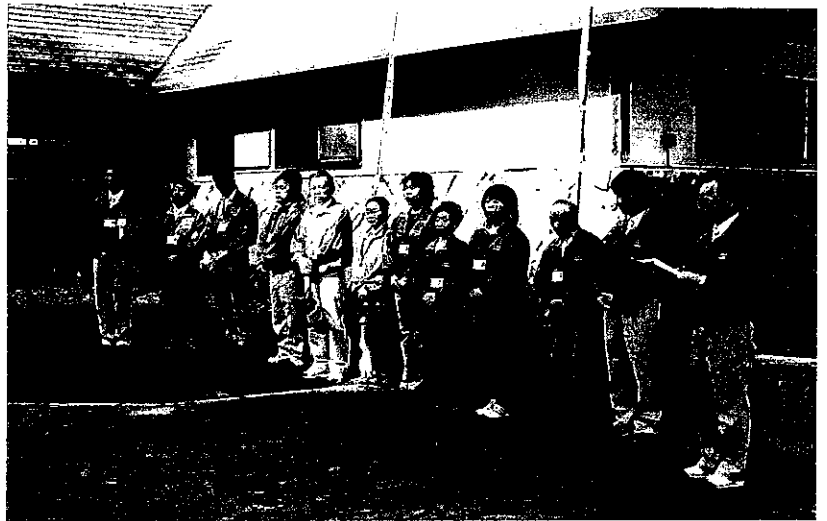
上三依水生植物園 開園式 4月15日 堂々オープン!!

◆入園者数も前年を大きく上回る

組合の指定管理受託第2号となる日光市・上三依水生植物園の開園式が4月15日、同園で開かれた。式には清水理事長はじめ、斎藤貴志日光市観光経済部長、山口勇上三依自治会長ら多数が出席してオープンを祝った。また、オープン後は各報道機関への宣伝、ポスターの配布、近隣の散策マップの作製、入園割引券の活用など、積極的な営業活動を展開して、7月にはすでに昨年を上回る入園者数を記録した。今年も11月30日までの開園となるが、夏場のより充実したサービスが望まれており、来春の開園までにはその具体策も求められている。是非、組合員皆様のアイデアやご尽力を賜り、現場スタッフと一緒に鬼ヶ原の植物園に育てたい。(広報/床井)



▲テープカットで開園を祝う清水理事長(中央)ら



▲藤川園長はじめ管理スタッフが紹介された

委員会組織を再編、共同受注と企画開発委員会を統合。

組合はこのほど委員会組織を再編、組合組織の強化を図った。これまでの共同受注委員会と企画開発委員会(指定管理受注推進組織)を統合、新たに教育情報委員会を設け、委員長に落合功氏、副委員長に中嶋徳実氏が就いた。(別表参照)

指定管理受注で「北山霊園」に再チャレンジ。「県営公園」にも着手。

「北山霊園」については、第1次審査を合格基準点60点を大きく上回る78点で合格した。第2次審査・ヒアリング(プレゼンテーション)を経て、候補者の選定は10月下旬の予定で進められる。一方、「県営公園」については、8月6日～8日の現地説明会に参加、応募の準備を進めている。中央公園、鬼ヶ原グリーンパークなど2～3ヶ所の応募が有力視されているが、採算面や運営面での慎重な検討が重要なため、応募先は流動的。